



チャレンジ家庭菜園

No. 43

イタリアンパセリ プランターで栽培を

平成20年3月10日
神奈川県農業共済組合

葉の縮みの多いパセリと言うとツマ野菜の印象が強いのですが、最近 葉の縮みの少ないパセリがイタリアンパセリとして栽培されるようになってきました。縮みの多いものと違い、やや大型で細長く裂けた葉はやさしい芳香があります。その都度切り取って使うようにすれば、年中収穫ができます。

1. 苗の準備

料理に使う量が少ないのでプランターや大きな鉢での栽培が最適です。ポット苗が園芸店等で販売されています。

2. 土の準備

水はけの良い土を好みます。完熟堆肥を多く含んだ土を準備します。

3. タネまき、植付け

タネまきを行う時期は3月から4月です。発芽適温は20 前後です。覆土は薄くし14～20日で発芽します。

移植栽培は小さなポット（連結ポット）にまき、本葉2～3枚になった時に根を傷めないように2.5cm間隔でプランターに植付けます。

高温期には生育が悪くなります。夏は半日陰で冬は日だまりの暖かい場所に置いておきます。

4. 管理

2週間に1回の間隔で、2株あたり大さじ半分程度の化成肥料をまき、土とかるく混ぜます。

5. 害虫

キアゲハが好んで寄生します。キアゲハの成虫が飛んできたら幼虫を発見し取り除きます。あとはアブラムシも発生します。

6. 収穫

生育に影響を与えない程度に外の葉を掻きながら収穫します。葉には強い香りと苦味があり、ビタミンA、C、鉄分が多く含まれます。

（参考文献：ザ・健康野菜）